

第381回三木市議会臨時会 市長 開会あいさつ

令和6年5月14日

議会の開会に当たり、一言ごあいさつを申し上げます。

清々しい五月晴れが快い季節を迎え、さわやかな風とともに、木々の若葉は一段と鮮やかに輝いております。

農地を悠然と行き来するトラクターの姿が市内のあちらこちらで見受けられるようになり、これから6月上旬にかけて、本市特産の山田錦の田植えが最盛期を迎えようとしています。

さて、先月24日に「人口戦略会議」が公表した「地方自治体「持続可能性」分析レポート」において、三木市は、「消滅可能性自治体」から脱却しました。平成26年5月に「日本創成会議」が発表した「消滅可能性都市」リストでは、三木市は、「消滅可能性都市」に該当していました。このたびの分析レポートは、昨年12月に国立社会保障・人口問題研究所が発表した人口推計を基に、全国の自治体の持続可能性を分析したもので、三木市は、20～39歳の女性人口の減少率が改善し、「消滅可能性自治体」から脱却したものです。この結果は、これまで取

り組んできたまちづくりの取組の成果が表れたものです。一方で、このたびの分析レポートでは、人口の自然減対策及び社会減対策が必要との結果も出ています。引き続き、20年、30年先の未来を見据え、将来にわたりまちの活力を保ち続けるため、まちづくりに邁進していく所存です。

また、来月1日には、吉川町に県立総合射撃場がオープンします。県立総合射撃場は、県内の深刻な獣害問題の解決に向け、野生鳥獣の捕獲や射撃に関する知識、技術の習得、向上の機会を提供し、狩猟者の確保と育成を図るとともに、射撃に関する競技水準の向上に寄与するために整備された施設です。国民スポーツ大会をはじめ様々な大会が開催できる施設であり、令和7年春に開駅予定の「道の駅よかわ」との相乗効果により、さらなる交流人口の増加を期待しています。

そうしたなか、本日、第381回市議会臨時会を開催させていただき、議員の皆さまにご参集賜りましたことに、厚くお礼を申し上げます。

本日の市議会臨時会では、条例関係が1件、人事案件が1件の計2件の提案を予定しております。

議員の皆さまにおかれましては、どうか十分なるご審議をいただき、適切なるご決定を賜りますよう、お願い申し上げます。

なお、本会期中におきまして、正副議長選挙をはじめ、各委員会委員の選任並びに正副委員長の選出が行われ、新しい議会構成が決定されることと存じますが、円滑な議事運営のうちに、適切なる結果が得られますようご期待を申し上げまして、開会のあいさつといたします。